



2011年度 第1四半期決算

カンファレンスコール用資料

2011年8月2日

参天製薬株式会社



2011年度 第1四半期

連結業績概要

**執行役員 管理本部長
原田 哲**

2011年度 第1四半期 決算概況

	2010年度 第1四半期 実績	2011年度 第1四半期 実績	対前年 同期 増減率
売上高	262.1	278.5	+6.2%
営業利益	66.3	77.6	+17.0%
経常利益	71.4	81.8	+14.6%
四半期 純利益	45.7	55.2	+20.7%



2011年度 第1四半期

売上高の増減要因 (対前年同期比較)

**2010年度
第1四半期
実績売上高
262.1億円**

+16.3億円

**2011年度
第1四半期
実績売上高
278.5億円**

国内: + 9.7億円

- + 医療用眼科薬 + 5.5億円
- + 抗リウマチ薬 + 0.0億円
- + 一般用医薬 + 1.5億円
- + 医療用機器 + 1.2億円
- + その他 + 1.3億円

海外: + 6.6億円

- + 北米 + 3.0億円
(うち為替 ▲ 0.5億円)
- + 欧州 + 2.5億円
(うち為替 ▲ 0.7億円)
- + アジア + 1.0億円
うち中国 ▲ 0.6億円
(うち為替 ▲ 0.3億円)
うち韓国 + 1.7億円
(うち為替 ▲ 0.1億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 1.1億円
- + 角膜 + 6.4億円
うちジクアス + 5.2億円
- + 緑内障 + 5.3億円
うちタプロス + 1.2億円
うちコンプト + 9.3億円
- + アレルギー + 0.5億円
- + その他 ▲ 5.5億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 3.2億円
うち西欧 ▲ 0.0億円
うち東欧 + 1.3億円
うち北欧 + 0.6億円
うちロシア + 1.2億円

<為替レート>	10FY1Q実績	11FY1Q実績
US\$	91.98円	81.63円
Euro	121.59円	117.91円
中国元	13.29円	12.48円

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

単位: 億円	2010年度 第1四半期 実績	2011年度 第1四半期		主な差異要因												
		実績	差異													
売上高	262.1	278.5	+ 16.3													
売上原価 (対売上高比率)	85.4 32.6%	86.5 31.1%	+ 1.1 ▲1.5pt													
研究開発費除く販売費 (対売上高比率)	76.5 29.2%	83.1 29.9%	+ 6.6 +0.7pt	・国内販売直接費+0.4億円 ・欧米事業+2.8億円 ・アジア事業 +1.7億円												
研究開発費 (対売上高比率)	33.8 12.9%	31.1 11.2%	▲ 2.6 ▲ 1.7pt	・うち為替レートの影響▲0.9億円												
営業利益 (対売上高比率)	66.3 25.3%	77.6 27.9%	+ 11.2 +2.5pt													
営業外収益	5.2	4.3	▲ 0.8													
営業外費用	0.1	0.1	▲ 0.0													
経常利益	71.4	81.8	+ 10.4													
特別利益	0.0	0.1	+ 0.0													
特別損失	1.1	0.1	▲ 0.9													
税金等調整前当期純利益	70.4	81.8	+ 11.4	<table border="1"> <tr> <td><為替レート></td> <td>10FY1Q実績</td> <td>11FY1Q実績</td> </tr> <tr> <td>US\$</td> <td>91.98円</td> <td>81.63円</td> </tr> <tr> <td>Euro</td> <td>121.59円</td> <td>117.91円</td> </tr> <tr> <td>中国元</td> <td>13.29円</td> <td>12.48円</td> </tr> </table>	<為替レート>	10FY1Q実績	11FY1Q実績	US\$	91.98円	81.63円	Euro	121.59円	117.91円	中国元	13.29円	12.48円
<為替レート>	10FY1Q実績	11FY1Q実績														
US\$	91.98円	81.63円														
Euro	121.59円	117.91円														
中国元	13.29円	12.48円														
法人税等	24.6	26.5	+ 1.9													
四半期純利益	45.7	55.2	+ 9.4													



參考資料
2011年度第1四半期
連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2011年度 第1四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	230.8	3.8 %	39.9	13.4 %	270.8	5.1 %
医療用医薬品	219.4	3.2 %	39.8	13.3 %	259.3	4.7 %
眼科薬	190.7	3.0 %	38.8	14.5 %	229.5	4.8 %
抗リウマチ薬	25.7	0.0 %	0.4	138.0 %	26.1	1.1 %
その他医薬品	3.0	75.8 %	0.5	▲ 48.0 %	3.5	29.9 %
一般用医薬品	11.4	16.2 %	0.0	401.4 %	11.4	16.5 %
その他	4.4	40.9 %	3.2	135.4 %	7.7	70.1 %
医療機器	4.3	41.2 %	3.2	135.4 %	7.6	70.5 %
その他	0.0	4.8 %	—	—	0.0	4.8 %
合計	235.3	4.3 %	43.1	18.1 %	278.5	6.2 %



海外売上高

(単位:億円)	2010年度 第1四半期 実績	2011年度 第1四半期		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
北米	2.0	5.1	3.0	149.1 %
欧州	20.2	22.8	2.5	12.5 %
アジア	14.1	15.2	1.0	7.3 %
その他	0.0	0.0	▲ 0.0	—
合計	36.5	43.1	6.6	18.1 %



貸借対照表

(単位:億円)	2011年3月末		2011年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,376.6	74.5%	1,353.8	74.4%	▲22.8
固定資産	471.3	25.5%	466.1	25.6%	▲5.1
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,848.0	100.0%	1,820.0	100.0%	▲27.9
流動負債	241.0	13.0%	199.5	11.0%	▲41.5
固定負債	42.9	2.3%	38.9	2.1%	▲4.0
負債合計	283.9	15.4%	238.4	13.1%	▲45.5
純資産合計	1,564.0	84.6%	1,581.6	86.9%	17.6
負債純資産合計	1,848.0	100.0%	1,820.0	100.0%	▲27.9

【主要変動科目】

- 流動資産: 現金及び預金▲21.0億円、有価証券▲12.0億円、商品及び製品+9.8億円
- 固定資産: 建物及び構築物▲1.7億円、建設仮勘定+3.1億円、ソフトウェア▲1.1億円、投資有価証券▲1.4億円、長期繰延税金資産▲3.8億円
- 流動負債: 未払法人税等▲29.3億円、賞与引当金▲13.9億円
- 固定負債: 役員退職慰労引当金▲2.8億円
- 純資産 : 利益剰余金 +11.7億円、為替換算調整勘定+3.9億円



キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2011年度 第1四半期 実績
現金等期首残高	724.8
現金等 増減額	▲ 12.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	10.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	18.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 41.3
現金等に係る換算差額	▲ 0.0
現金等期末残高	712.6

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2010年度		2011年度	
	第1四半期実績	通期実績	第1四半期実績	通期予想
設備投資額	1.9	17.0	6.3	62.1
減価償却費	6.8	28.0	6.4	29.5
リース料	0.6	1.5	0.1	1.6



参考資料

2011年度通期連結業績予想



2011年度 連結業績予想概況

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度 業績予想	対前期 増減率
売上高	1,108.1	1,160.0	4.7%
営業利益	307.3	300.0	▲2.4%
経常利益	314.8	305.0	▲3.1%
当期純利益	213.3	205.0	▲3.9%
ROE	14.5%	12.6%	▲1.9pt

2011年度 連結業績予想

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度	
		業績予想	増減
売上高	1,108.1	1,160.0	51.8
売上原価 (対売上高比率)	344.3 31.1%	360.0 31.0%	15.6 ▲0.0 pt
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	324.1 29.3%	340.0 29.3%	15.8 0.1 pt
研究開発費 (対売上高比率)	132.2 11.9%	160.0 13.8%	27.7 1.9 pt
営業利益 (対売上高比率)	307.3 27.7%	300.0 25.9%	▲7.3 ▲1.9 pt
営業外損益	7.4	5.0	▲2.4
経常利益	314.8	305.0	▲9.8
特別損益	▲4.0	0.0	4.0
税引前当期純利益	310.7	305.0	▲5.7
法人税等	97.4	100.0	2.5
当期純利益	213.3	205.0	▲8.3
ROE	14.5%	12.6%	▲1.9pt

<為替レート>
 2010年度実績
 US\$ 85.57円
 Euro 113.45円
 中国元 12.94円
 2011年度予想
 US\$ 82.00円
 Euro 113.00円
 中国元 12.50円



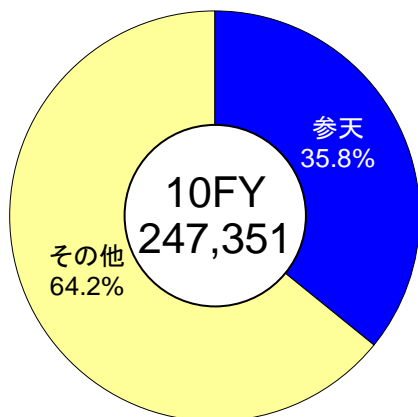
参考資料
国内医療用眼科薬市場概況

S 国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：11FY1Qの市場規模は対前年+5.8%。網膜領域、アレルギー領域が引続き市場を牽引。参天シェア36.0%
- ・緑内障：市場は対前年-0.8%とほぼ横ばい。参天はタプロス、コソプトの寄与により対前年+13.8%、シェア27.3%を確保
- ・角膜：市場は対前年+9.5%と増加。ヒアレイン、ジクアスを中心に+13.0%と伸長し、シェア77.6%を確保

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

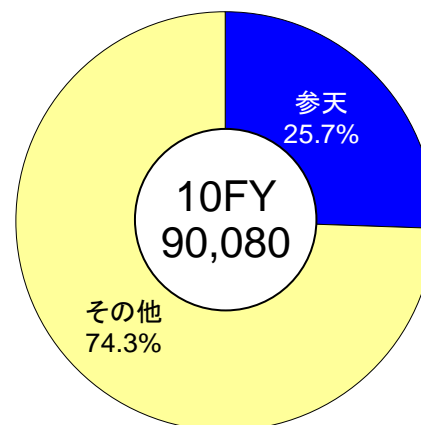
眼科薬計



10FY 11FY1Q

(金額) 前年比	市場	+5.3%	+5.8%
	参天	+1.0%	+5.0%
参天シェア		35.8%	36.0%

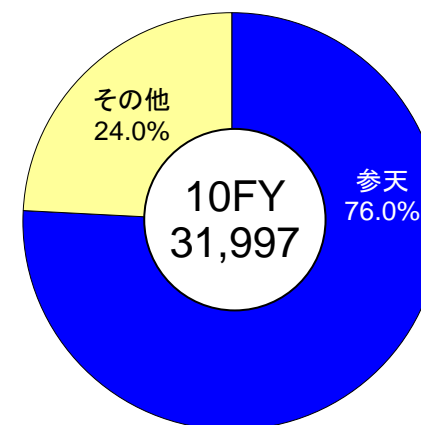
抗緑内障剤



10FY 11FY1Q

市場	+1.8%	-0.8%
参天	+13.5%	+13.8%
参天シェア	25.7%	27.3%

角膜疾患治療剤



10FY 11FY1Q

市場	+1.0%	+9.5%
参天	-0.5%	+13.0%
参天シェア	76.0%	77.6%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス

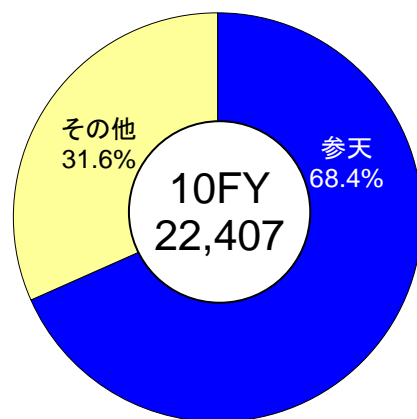
出典: ©2011 IMS Japan
IMS-JPM 2009-11を基に参天分析
無断転載禁止

S 国内医療用眼科薬：市場概況（抗菌・アレルギー）

- ・抗菌：11FY1Qの市場規模は対前年-3.1%と減少。参天はクラビットを中心にシェア67.9%確保
- ・抗アレルギー：11FY1Qの市場は対前年+31.2%と拡大。競合品の伸長傾向が続く中、参天シェアは18.2%

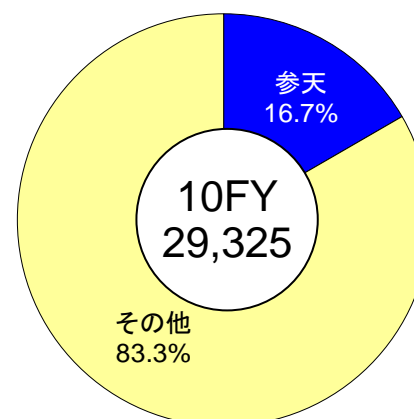
市場規模: 百万円
%: 金額ベース

抗菌点眼剤



		10FY	11FY1Q
(金額)	前年比		
	市場	-1.0%	-3.1%
	参天	-3.3%	-3.7%
参天シェア		68.4%	67.9%

抗アレルギー剤



		10FY	11FY1Q
(金額)	前年比		
	市場	+22.3%	+31.2%
	参天	+2.9%	+27.4%
参天シェア		16.7%	18.2%

-主な参天製品:
 ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
 ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレキサール

出典: ©2011 IMS Japan
 IMS-JPM 2009-11を基に参天分析
 無断転載禁止



2011年度 第1四半期

新製品開発の現状

取締役 専務執行役員

米国・欧州事業管掌 兼 研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線: 10FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障		DE-112 アデノシンA _{2A}		DE-111 タフルプロスト/チモロール 欧州 日本	DE-085 タフルプロスト 中国 米国 日本・アジア・ 欧州・ラテンアメリカ
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			
角結膜疾患		DE-101* リボグリタゾン	DE-089 ジクアホソルナトリウム 中国 韓国 日本		
		DE-105 米国 ペプチド組合せ剤 日本			
		DE-110 SEGRA			
網膜 ぶどう膜 疾患			DE-109 シロリムス		
			DE-102 ベタメタゾンDDS		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体	DE-114 エピナスチン塩酸塩		DE-108 レボフロキサシン1.5%

*新しいターゲットプロファイルにて新たにP2試験を米国で準備中



主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 10FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾンDDS		DE-085 タフルプロスト
		DE-090 ロメリジン塩酸塩	DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-089 ジクアホソルナトリウム
		DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-114 エピナスチン塩酸塩		DE-108 レボフロキサシン1.5%
		DE-098 抗APO-1抗体			
北米 (ラテンアメリカ含む)	DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-110 SEGRA	DE-109 シロリムス	米国	DE-085 タフルプロスト ラテンアメリカ
		DE-101* リボグリタゾン			
アジア		DE-112 アデノシンA _{2A}		中国	DE-085 タフルプロスト 韓国ほか
				中国 DE-089 韓国 ジクアホソルナトリウム	
欧州			DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-085 タフルプロスト

*新しいターゲットプロファイルにて新たにP2試験を米国で準備中

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：参天「タプロス」「TAFLOTAN」、米メルク社*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	発売	発売	一般名： タフルプロスト 【発売開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 ラテンアメリカ：2010年8月 【導出】 米メルク社： 2009年4月
欧州**	発売27カ国／承認37カ国 米メルク社*に一部導出	発売27カ国／承認30カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア	発売4カ国／承認5カ国 中国：承認申請中	発売2カ国／承認4カ国 中国：承認申請中	
米国他	米メルク社*に導出 発売4カ国／承認9カ国 米国：承認申請中	米メルク社*に導出 発売4カ国／承認6カ国 米国：承認申請中	

【発売国】世界合計：36カ国（今回2カ国追加：下線）

- ・参天：日本、アジア4カ国（香港、韓国、インドネシア、シンガポール）、欧州20カ国（ドイツ、フィンランド他18カ国）
- ・米メルク社*：欧州7カ国（イギリス、スペイン、オランダ、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス）、ラテンアメリカ4カ国（バハマ他）

【承認国】世界合計：52カ国（今回11カ国追加：下線）

（台湾、フランス、ベルギー、ギリシャ、アイルランド、スロベニア、キプロス、マルタ、ブラジル、アルゼンチン、ホンジュラス）

*米メルク社への販売権導出(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

**CIS諸国を含む

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	発売	発売 (2010年12月)	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国：P3 韓国：承認申請中	中国：P3 韓国：承認申請中	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P3	P3	一般名： タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3	

■DE-112

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	アデノシンA _{2A} 受容体作動薬



主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
米国	P1/2終了	P1/2	一般名:リボグリタゾン
	P2*準備中	-	
日本	P2b終了	P2b	

*ターゲットプロファイルを変更のうえ、涙液の質及び量の改善効果を期待し、新たに米国でのフェーズ2試験を準備中

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P2	P2	ペプチド組み合わせ剤
米国	P2準備中	P2準備中	

■DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
米国	P2	P2	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

主要臨床プロジェクトの現状 —網膜/ぶどう膜疾患—

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P2/3	P1/2	一般名: ベタメタゾンDDS

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
米国	P3	P3	一般名: シロリムス

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	発売 (2011年6月)	製造販売承認 取得	一般名: レボフロキサシン(1.5%)

■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P3	P3	一般名: エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/10発表時)	
日本	P2	P2	抗APO-1抗体



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。